

平成 26 年度第 3 回新生児医療連絡会役員会 議事録

日時 2014 年 11 月 11 日（月） 午前 7：30～

（第 59 回日本未熟児新生児学会 第 2 日 松山）

協議事項

1. 新入会

- ① 今村公俊先生 土浦協同病院新生児科
- ② 西崎直人先生 順天堂大学医学部附属浦安病院周産期センター
- ③ 櫻井基一郎先生 昭和大学江東豊洲病院小児内科

2. 超重症児加算について

加算算定日数の撤廃について、関連分野の団体と連携

3. 各施設における係争事例数の調査について

日本未熟児新生児学会医療訴訟問題検討委員会活動の基礎資料として
施設代表に郵送調査

4. 「一人飲み」調査について

10 年前に調査を行い、公表した。改善傾向がみられないため、再調査し
論文化したい。

5. 先天性 CMV 感染症検査サービスについて 総会にてアナウンス

6. 連絡会 30 周年記念誌について 2 月までに原稿を集め、夏に刊行

7. 27 年度 第 1 回総会&ASPR2015 Prof Ng の招聘について

小児科学会 2 日目夕に金先生、Ng 先生にそれぞれの国の人材育成の実情
を講演していただく。講演料を連絡会から

8. レジナビは、参加しない。人材発掘に関しては、学会教育委員会の LINE

プロジェクトの DVD につき、広報&郵送等を連絡会で担う。

報告事項

周産期医療整備指針改定について

周産期医療体制整備指針の見直しは、今年度末ではなくて27年度末に延長となった。
理由は、第7次医療計画と同時の改定にし、今後は医療計画の修正（6年毎）と同じタイ
ミングで変更するため。すなわち、周産期医療体制整備も医療計画に則り、法律で規定
される国の義務的な医療体制整備となり、より好ましい体制となる。

以上